

ibidi Micropatterning とは?



ibidi独自の技術を誰よりも早く体験できるチャンス!

細胞を自在に配列することで、誰も見たことのない細胞評価系を構築しませんか?

ibidi マイクロパターニングは通常の細胞培養からスフェロイド形成に至るまで、細胞接着が起こる領域を空間的に制御することを可能にする技術です。

ibidi マイクロパターニングの特長

- ibidi ポリマーカバースリップ上の生体分子非接着性加工が施された表面 (バイオイナート表面) に対し、ibidi マイクロパターニングを用いて、線、正方形、またはドットなどの目的に応じた微細な接着パターンを刻むことで、細胞接着を正確にかつ自在に制御します。
- 乾燥状態で安定に保存できる、無菌かつ即使用可能な製品です。
- マイクロパターニングで用いている素材 (バイオイナート表面、および ibidi ポリマーカバースリップ) は、すべての高分解能顕微鏡観察用に適した仕様となっており、顕微鏡観察で優れた性能を発揮します。

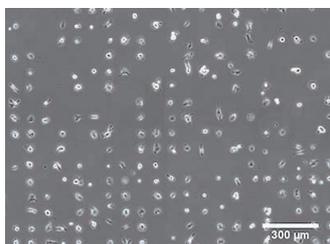


マイクロパターンの仕様

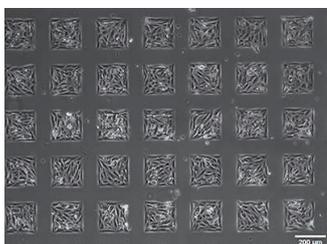
サイズ (解像度)	> 3 μm
利用可能なパターンデザイン	円、正方形、線等、お客様ご要望のデザイン
利用可能な表面	・ Arg-Gly-Asp (RGD) などペプチド分子 ・ 水素結合、静電気力、極性等、化学結合を介した細胞接着を媒介する分子表面 ・ クリックケミストリーに用いるためのカスタム特異的な分子表面
光学	・ 高解像度蛍光イメージングに適応可能 ・ 本マイクロパターニングは、位相差 / 明視野顕微鏡で視認されません。 ※オプション：パターンを視認するための蛍光処理もできます。
容器およびフォーマット	ibidi μ -スライドおよび μ -プレート (バイオイナート加工された表面全般)
輸送	室温

パターン例

シングルセルアレイ



マルチセルアレイ



スフェロイド形成

